

新型インフルエンザの状況について

平成21年 6月16日
保 健 福 祉 部

当市において、平成21年6月9日に、新型インフルエンザA/(H1N1)の感染者が確認されたので、その後の状況について説明するものです。

なお、本資料は、平成21年6月14日現在の状況で記載しております。

1 盛岡市内での感染者の状況

診断日	感染者	備考
平成21年6月9日	女性(36歳)	・船橋市で確定した患者の接触者 ・入院中で症状は回復傾向

2 盛岡市居住者の他管内での発症者（平成21年6月以降）

感染者	感染確認日	備考
平成21年6月10日	女性(22歳)	・船橋市で確定した患者の接触者 ・宮城県内で発症し入院中（回復傾向）

3 濃厚接触者の健康観察等の状況

現段階で、感染を疑う者は、おりません。

(1) A事業者

対象者数	健康観察期間	備考
22名	～平成21年6月14日	・対象者は自主的に自宅で待機 ・予防投薬を実施（希望者へ）

(2) B事業者

対象者数	健康観察期間	備考
7名	～平成21年6月16日	・対象者は自主的に自宅で待機 ・予防投薬を実施（希望者へ）

4 発熱相談センターの相談状況等

相談件数	発熱外来受診件数	詳細検査（PCR）件数
644件	10件	7件（感染確認 1件）

5 市の対応状況

(1) 市健康危機対策本部の開催状況

平成21年5月16日 「盛岡市健康危機対策本部」の設置（本部長：市長）

平成21年5月18日 「第1回盛岡市健康危機対策本部会議」の開催

（現状の確認，当面の方針の決定，今後の検討事項の確認）

平成21年5月26日 「盛岡市健康危機対策本部本部連絡員会議」の開催

（現状の報告，具体的な各課等の対応すべき内容の確認）

平成21年6月 9日 22時 「第2回盛岡市健康危機対策本部会議」の開催

○感染者の確認を受けて開催

- ・患者の状況と発生までの経緯等について報告

（盛岡市在住 36歳 女性，感染症指定医療機関に入院）

※患者の症状は，現在，回復している。

- ・今後の対応方針の確認

〔積極的疫学調査，濃厚接触者の健康調査，感染防止策の強化要請
保育所・学校等の閉鎖措置等及び集会の自粛は要請しないこと〕

(2) 対応策

現段階で把握している患者及び濃厚接触者の行動からは，直ちに感染が拡大する恐れは小さいと考えられることから，次のとおり対応いたします。

- 学校，幼稚園，保育園，福祉施設等の休校・休業の要請については，現時点では行わない。
- 公立施設等の休業，イベント・行事等の中止・自粛，事業所への事業自粛等についても，現段階では要請しない。
- 上記施設等においては，感染予防や利用者の健康管理を徹底するようお願いいたします。
- 濃厚接触者への抗インフルエンザ治療薬の予防投与を、状況に応じて実施します。（希望者へ）

《参考》

相談窓口（発熱相談センター）

受付時間	電話番号	担当
9時～17時30分(毎日)	603-8308	盛岡市保健所保健予防課
24時間対応	629-5466	岩手県保健福祉部保健衛生課

岩山漆芸美術館の再開館について

平成 21 年 6 月 16 日
総務部・商工観光部

1 岩山漆芸美術館の再開館について

岩山漆芸美術館の 8 月からの再開館に当たっては、ペ・ヨンジュン氏の名誉館長への就任、同氏の所属事務所との共同運営なども念頭に株式会社化の検討や同美術館でのヨン様コーナーの設置などが計画されており、多くの観光客の来盛が見込まれることから、着地型観光の対策をとるとともに、岩山全体の観光の振興や漆文化の発信の面からも支援することとしたい。

2 今後の対応について

(1) 施設修繕

運営主体であった任意団体が、このたび、株式会社へ移行することにより、施設の貸借関係を使用貸借から賃貸借に変更する必要があるため、これに伴い、市においては、賃貸人として負うこととなる必要な修繕を行っていく。なお、希望しているさんさ踊りに合わせた 8 月 1 日の再開館までにできる修繕（消防設備修繕約 730 万円、電気設備修繕約 350 万円）については、法人の設立等を確認の上、当面既計上予算で執行し、補正予算での対応をお願いするものである。

なお、賃貸料はおおよそ年間 630 万円となる見込みで、本年度は 420 万円となる予定。

(2) 観光対策

ペ・ヨンジュン効果による集客増が見込まれ、岩山全体への波及効果も含め、観光活用対策を講じ、賑わいづくりを行う必要があることから、定期観光バスへの組込みをバス会社と協議するとともに、旅行エージェントへの情報提供及び旅行商品について協議を進める。

(3) 交通・駐車場対策

岩山漆芸美術館の駐車台数が限られていることから、動物公園等の駐車場用地の一部借受けについて協力するとともに、盛岡駅から同美術館までのシャトルバスの運行について、再開館に合わせて岩手県交通と協議をする。

(4) 雇用問題

再開館に当たっては、岩山漆芸美術館においては、現員では対応しきれないことから、漆技術の伝承者も含め、2 人の雇用を予定しているが、市においては、ふるさと雇用事業を活用してこれを支援することとしている。

3 岩山漆芸美術館の再開館に係る経緯

(1) 平成 20 年 11 月、ジャパン 21 いわてが運営する岩山漆芸美術館が休館。今後、漆文化テーマ館としての充実を図り再開館に向けて準備を行うこととなった。

- (2) 本年2月末、韓国の国民的人気俳優ペ・ヨンジュン氏が全龍福館長に漆工芸を学ぶため来日し、1週間ほど盛岡に滞在し、岩山漆芸美術館にペ・ヨンジュンコーナーを設置するとともに、ペ・ヨンジュン氏自身も美術館の運営にも参画する意向を、全館長に示した。
- (3) 市では、再開館に向けて、ふるさと雇用制度の活用を図ることで、21年度補正予算に盛り込んだ(担当:ブランド推進課)。
- (4) 本年3月末、全館長が来庁し、再開館に際し、経営は、ペ・ヨンジュン氏との共同経営による会社設立とペ・ヨンジュン氏が名誉館長等に就任する構想が示された。
- (5) 4月7日に、全館長とペ・ヨンジュン氏の所属会社関係者が、市長、副市長と懇談を行った。その内容は、ペ・ヨンジュン氏が盛岡を訪れてますます好きになったこと、慎重に将来を考えて長期的にお互い取り組みたいことなどが話された。
- (6) 4月22日、管財課、建築住宅課、ブランド推進課で再開館にかかる施設修繕等の要望箇所について全館長から聴取。要望箇所は、展示室の湿気対策、電気容量の増工事、トイレの改修の3点。
- (7) 4月23日、調査の結果、全館長の修繕要望箇所以外に法令上、消防設備の修繕が必要であることが判明。これらのうち、来館者の利便向上を図るうえで、必要とされる工事については、賃貸料、美術館の観光面での寄与等の状況を勘案し、別途予算化し対応したい。
- (8) 5月15日、市内のホテル・旅館関係者に、5月18日には市内のマスコミに対して、8月には美術館を再開館することを発表した。
- (9) 6月2日、ペ・ヨンジュン氏が岩山漆芸美術館の名誉館長に就任することが正式に発表となった。
- (10) 作家の瀬戸内寂聴さんが何らかの形で館の運営に協力されるという話が進んでいる。